

Principal Correspondence

「サンタクロースが訪れる小学校」

リリーベール小学校の先生方は本気でサンタクロースの存在を信じています。
児童の皆さんも信じていますよね??
だって創立以来 20 年間 12 月になると毎年やって来るのですから。
今年も公式声明を下記の通り発表します。

リリーベール公式声明

サンタクロースは本当にいます。
サンタクロースが人々の善意の象徴とするなら
彼はみんなの心の中に確かにいます。
今年も 1 年間, 大小の壁を乗り越え
元気に大きくなったあなたには特別に
クリスマスアッセンブリーの日会いにくるでしょう。

今年 1 年の成長と, あなたを見守り, 慈しんでくれた人々に感謝し,
来年はもっと優しく強い子になりますように…。

2024 年 12 月

リリーベール小学校

クリスマスは, 例えキリスト教徒でなくても, 大人にも, 子どもにとっても
一年のおわりの最も楽しい行事です。

夕暮れの雑踏, 街の飾り, 光り輝くイルミネーション。
歳末助け合いの声, 子どもたちはサンタクロースのプレゼント
に心躍らせ, 大人はあたりまえの幸せに感謝し, 一年間の無事と
成長を祝うとき…

一年のおわりにリリーベールでは「クリスマスアッセンブリー」で
皆様に至極の時間を提供します。

Principal Correspondence

「周りを照らす人に育てる」



オランダの大学での実験結果です(すごい心理学 内藤誼人 綜合法令出版)。

親が子どもに対してすごく厳しく、批判的な態度で接していると、その子どもは親が自分にするようなやり方でクラスメートと接するようになってしまいます。そのため、すごく嫌われる子どもになっていくのです。

逆に、親が絶えず子どもに笑顔を見せ、楽しいことを口にし、子どもが嬉しくなるような言葉がけをしていれば、その子どもは学校で他の子どもに同じことをしてやるようになります。したがって、その子どもはクラスでの人気も高くなるのです。

まさに「親の背を見て子どもは育つ」ですね。

周りに愛される人になることは子どもにとって幸せの条件です。普段子どもにとって身近な大人は、親と教師しかいないのですから、私たち教師も充分気をつけてまいります。

師走12月はクリスマスのシーズンでもあります。サンタクロースは人々の善意の象徴とされます。**人に優しく、周りを照らすような人になってもらいたい**と切に願う12月です。

